

施策 241 競技スポーツの推進

【主担当部局：地域連携部スポーツ推進局】

県民の皆さんとめざす姿

全国高等学校総合体育大会、国民体育大会の本県開催や東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、県民の皆さんのスポーツに対する関心が高まり、本県選手の活躍をとおして、県民の皆さんが夢、感動、勇気を得るとともに、郷土を愛する意識や一体感が醸成されています。

平成31年度末での到達目標

将来を担うジュニア・少年選手の育成やトップアスリートの強化、指導者の確保・養成等に取り組むことにより、本県選手の育成・強化が進んでいます。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
国民体育大会 の男女総合成 績		10位台	10位台		10位台	10位以内
	27位	27位				
目標項目の説明と平成30年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	国民体育大会における正式競技の参加点（ブロック大会を含む）と冬季大会および本大会の競技得点の合計による都道府県ごとの男女総合順位					
30年度目標値 の考え方	平成31年度に10位以内を達成するためには計画的に競技水準を向上させる必要があるため、三重県競技力向上対策基本方針をふまえ、10位台と設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
24101 競技力の 向上（地域連携 部スポーツ推進 局）	全国大会の入 賞数		122人	127人		140人	142人
		117人	127人				
24102 国民体育 大会の開催準備 の推進（地域連 携部スポーツ推 進局）	国体開催に向 けた広報ボラ ンティアの延 べ活動人数		30人	190人		480人	970人
		—	68人				

活動指標		27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
		24103 スポーツ施設の充実（地域連携部スポーツ推進局）	県営スポーツ施設年間利用者数	834,602人	710,200人 845,481人	725,800人	

現状と課題

- ①全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手（小・中学生）を「チームみえジュニア」として指定したことで、競技団体、指導者、保護者が一体となってジュニア選手を育成することの重要性の認識が、より一層深まりました。また、国内トップクラスにあるジュニア選手16名（中学生4名、高校生12名）を「チームみえスーパージュニア」として指定し、県民の皆さんや企業等からの寄附金（「三重から発進！未来のトップアスリート応援募金」）を活用して遠征・合宿等の強化活動を支援したことで、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会、国民体育大会での成績につながりました。今後も、本県競技スポーツを牽引するようなジュニア・少年選手を引き続き支援する必要があります。
- ②中学校運動部（4校4部）および高等学校運動部（29校68部）を強化指定するとともに全国大会で活躍が期待できる中学生が所属するジュニアクラブ（11クラブ）を強化指定し、遠征・合宿等強化活動を支援したことで、全国中学校体育大会の入賞件数が増加しました（H28：13→H29：15）。全国高等学校総合体育大会の入賞件数は減少したものの（H28：47→H29：32）、女子テニス団体などで優勝することができました。今後も、三重とこわか国体および全国高等学校総合体育大会に向けて中学生・高校生選手を中心とした育成・強化を図るため、学校運動部やジュニアクラブの強化指定を引き続き推進していくとともに、小中学生から高校生までの一貫指導体制の構築や、優れた指導者の育成、指導体制の整備について取り組んでいく必要があります。
- ③本県出身大学生トップアスリート（5名）、大学運動部、企業・クラブチーム（16チーム）を強化指定し、その強化活動を支援した結果、世界選手権でメダルを獲得する選手を輩出するなどの成果をあげています。今後も引き続き、本県成年選手強化の中核を担う選手や大学運動部、企業・クラブチームの強化指定を推進する必要があります。
- ④成年選手が本県に定着し、競技活動を継続できるよう就職支援の取組を進めた結果、新たに16社から求人登録を得ることができ累計で145社となりました。また、新たに16名の選手が内定を得ることができ、就職者数（内定者数を含む）の累計は28名となりました。今後も競技団体との連携のもと、県内企業に就職し、競技活動の継続を希望するアスリートを確保し、企業とのマッチングを図っていく必要があります。
- ⑤昨年度オーディションを実施し1月に認定した6名の女子ラグビーのアスリートタレント（MIEスーパー☆（スター）ガール）に対し、9月までに9回の教育・育成プログラム、61回の専門プログラムを実施しました。また、女性アスリートが競技を継続して取り組めるよう、女性特有の課題について研修会を実施しました。今後も引き続き、MIEスーパー☆（スター）ガールに各プログラムを実施し育成を図るとともに、第2期生のオーディションを実施し認定を行います。

- ⑥優れた競技実績や指導実績をもつ指導者を通年で指導にあたる「年間コーチ」として4競技団体に、練習会等に派遣する「ワンポイントコーチ」として7競技団体に派遣するとともに、国内のトップアスリート5名を「スポーツ指導員」として三重県体育協会に配置しました。また、大会出場に必要となる競技艇等の競技用具の整備を行いました。これらの取組を通じて、当該競技の競技力向上に成果をあげることができました。今後も県内外の優れた指導力を有する指導者等を活用するとともに、競技用具等の整備を進める必要があります。
- ⑦三重とこわか国体の開催に向けて、会場地市町の選定などの準備に取り組んだ結果、7月に8市町で12のデモンストレーションスポーツの実施が選定され、県内全ての市町で競技が開催されることになりました。また、県民の皆さんに大会を支えていただく取組のひとつとして、7月に「募金・企業協賛基本方針」を制定し、取組の準備を進めています。今後も引き続き、三重とこわか国体の成功に向けて、会場地市町や各競技団体等と連携し、着実に開催準備を進めていく必要があります。
- ⑧三重とこわか大会に向けた準備を進めるため、会場地市町の選定や競技役員等について、関係団体と連携し、計画的に養成しています。引き続き、市町や関係団体と連携して、三重とこわか大会に向けた準備を進める必要があります。
- ⑨三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催を周知するため、県広報紙やポスターなどを活用した広報を行うとともに、イメージソングを決定し、吹奏楽バージョン等への編曲やダンスの振付を行っています。今後、ダンスや吹奏楽に取り組むことができるよう、各種イベントや運動会等での活用を市町や団体等に働きかけていく必要があります。
- ⑩所管する県営スポーツ施設について、指定管理者と連携し、効果的・効率的な管理運営に努め、8月末現在の利用者数は391,691人となりました。また、「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿」水泳場競技処理システム更新工事を行うなど、施設・設備の安全性、利便性の確保に努めました。引き続き、年度当初に予定した設備の維持修繕や備品導入の早期実施に努め、施設機能の維持向上を図っていく必要があります。
- ⑪「三重交通G スポーツの杜 伊勢」陸上競技場のメイン競技場については、平成29年10月21日に供用を開始しました。また、ライフル射撃場については、平成29年度中の供用開始に向け、10m射場の建替工事及び50m射場の改修工事を行っています。三重とこわか国体等の開催に向け、着実に整備を進めていく必要があります。

平成30年度の取組方向

- ①平成30年度は、三重県競技力向上対策基本方針において位置づけた育成期の最終の年となることから、育成期の目標である天皇杯順位10位台を獲得するとともに、平成31年度からの躍進期に向けて各競技団体の戦力や育成・強化の進捗等、状況を分析し、競技力向上対策委員会等における意見をふまえながら、より具体的で効果的な強化対策に着実に取り組みます。
- ②ジュニア・少年選手の育成・強化を図るため、全国大会等で活躍が期待できるジュニア・少年選手を「チームみえジュニア」「チームみえスーパージュニア」として指定するとともに、競技団体、指導者、保護者が一体となって取り組むための研修会を開催します。また、「チームみえスーパージュニア」の活動を支援するため、「三重から発進！未来のトップアスリート応援募金」のPRを行い、協力を広く呼び掛けます。
- ③三重とこわか国体および平成30年全国高等学校総合体育大会に出場する中学生・高校生選手を中心とした育成・強化を図るため、中学校・高等学校運動部やジュニアクラブの強化指定に、引き続き取り組みます。また、小中学生から高校生までの一貫指導体制を確立するとともに、優れた指導者の育成や、指導体制の構築に取り組みます。

- ④東京オリンピック・パラリンピック競技大会や三重とこわか国体において本県選手が活躍できるよう、本県出身の成年選手や県内の大学運動部、企業・クラブチームを強化指定し、成年種別の育成・強化を進めます。
- ⑤トップアスリートが県内に定着できるよう、競技団体と緊密に連携しながら、アスリートの就職を支援する取組をさらに推進します。また、これまでの取組で県内に定着したアスリートが今後の国民体育大会等の国内外の大会で活躍できるよう、競技環境の整備を進めます。
- ⑥女子種別の充実を図るため、女子ラグビーに特化したタレント発掘・育成の取組をさらに進めます。また、女性アスリートが長く競技を継続できるよう、研修会を開催するなど、選手、指導者、保護者等の意識醸成を図ります。
- ⑦本県選手への指導を担うことで競技力向上を図るとともに、現役のトップアスリートとして成年種別の競技力向上を図るため、「スポーツ指導員」を引き続き配置します。また、安定的な競技力向上を図るため、大会において必要となる競技用具等を計画的に整備します。
- ⑧三重とこわか国体については、開催3年前となる平成30年に、公益財団法人日本体育協会から開催決定が得られるよう、引き続き、会場地市町や各競技団体等と連携し、着実に準備を進めていきます。また、企業や団体、県民の皆さんから幅広い支援をいただけるよう、平成30年8月から募金・企業協賛制度の取組を進めていきます。
- ⑨三重とこわか大会の開催に向けて、情報支援ボランティアや競技役員など大会を支える関係者の計画的な養成を進めます。また、県や市町のイベント等の機会を活用し、実施競技の体験の場を提供するなど、三重とこわか大会への理解を深めていただけるよう、取組を進めていきます。
- ⑩三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催を周知するため、イメージソングやダンスの活用を市町や団体等に働きかけを行うなど、広報ボランティアとともに積極的な広報活動を行い、開催機運の醸成を図ります。
- ⑪県営スポーツ施設について、快適な利用環境を提供できるよう指定管理者と連携し、より一層のサービスの向上に努めます。あわせて、施設・設備の安全性、利便性を確保するための改修・修繕については、緊急性・必要性の観点から計画的に実施してまいります。また、次期指定管理者の選定作業を進めます。
- ⑫「三重交通G スポーツの杜 伊勢」陸上競技場の周辺整備やライフル射撃場の施設整備については、引き続き、関係機関・団体との調整を行いながら、計画的に進めてまいります。

主な事業

- ①（一部新）競技力向上対策事業【基本事業名：24101 競技力の向上】
予算額：(29) 261,532千円 → (30) 461,608千円
事業概要：平成30年の全国高等学校総合体育大会及び国民体育大会や平成33年の三重とこわか国体に向けて、これまでの強化対策の取組をより充実させるとともに、ジュニア・少年選手の育成と、三重とこわか国体の後も継続して三重の競技スポーツを担う人材を育むため、JOC（日本オリンピック委員会）やJSC（日本スポーツ振興センター）と連携を図りながら、優れた指導者の養成と指導体制の構築に取り組みます。

② 第76回国民体育大会開催準備事業【基本事業名：24102 国民体育大会の開催準備の推進】

予算額：(29) 74,881千円 → (30) 567,739千円

事業概要：三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備を着実に進めます。広報においてはイメージソングやダンスを活用し、広報ボランティアとともに積極的な広報活動を展開します。また、募金・企業協賛制度を8月からスタートさせ、より多くの県民に支援を得られるよう取り組みます。あわせて、会場地市町や各競技団体等と連携し、会場地市町における施設整備への支援、輸送交通や宿泊、式典への対応にかかる取組などを進めます。

③ 第21回全国障害者スポーツ大会開催準備事業

【基本事業名：24102 国民体育大会の開催準備の推進】

予算額：(29) 16,619千円 → (30) 13,429千円

事業概要：三重とこわか大会の開催に向け、三重県準備委員会等を開催し、各種方針・計画を策定するとともに、会場地市町や競技団体と連携し、情報支援ボランティアや競技役員など大会を支える関係者の計画的な養成を行います。

④ 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(29) 430,010千円 → (30) 1,118,410千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向け、施設・設備の老朽化対策にかかる改修等を行います。

⑤ 三重交通G スポーツの杜 伊勢事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(29) 5,343,608千円 → (30) 261,348千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向け、陸上競技場の周辺施設整備を行います。

⑥ 県営松阪野球場事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(29) 21,214千円 → (30) 34,868千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、三重とこわか国体の開催に向け、施設整備を行います。

⑦ 県営ライフル射撃場事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(29) 239,113千円 → (30) 16,733千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、三重とこわか国体の開催に向け、射撃場内の施設の改修にかかる設計業務を行います。